

大学校カリキュラム等検討委員会が九州職業能力開発大学校で開催されました。

今年度、基盤整備センターが主催する大学校カリキュラム等検討委員会（以下「委員会」という）の第2回目となる委員会が当校で8月28日から3日間に亘り開催され、機械系、電気系、電子情報系及び居住系の委員33名、並びに事務局として基盤整備センター3名、本部公共職業訓練部4名、総勢40名の方々が参加されました。

委員会では、18才人口が大幅に減少し始める2018年問題を目前に控え、ポリテクカレッジの魅力の向上等を課題とし、高度職業訓練の効果的な推進等について検討が行われています。また、生産システム技術系の3科では、平成30年度から3校で先行実施される応用課程の生産ロボットシステムコースもテーマの一つとなっています。

3日間の委員会も無事終了し、今後は第3回目の委員会に向け、さらに具体的な課題検討に入っていくことでしょうか。委員会の成果と各校への波及を期待いたします。

九州職業能力開発大学校

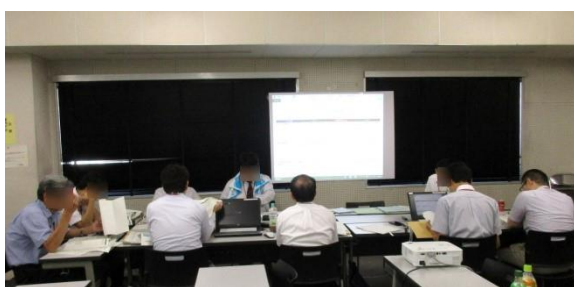
委員会各系の議論の様子



機械系グループ



電気系グループ



電子情報系グループ

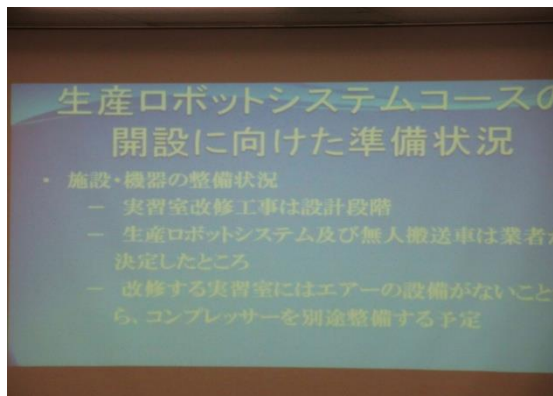


居住系グループ

九州能開大の現状紹介



九州能開大が抱える課題



生産ロボットシステムコース準備状況

施設見学



電子情報技術科



開発課題室



機械加工（汎用機）実習場



機械加工（自動機）実習場



電気エネルギー制御科



生産電気システム技術科



建築（木造）実習場



建築（鉄骨、鉄筋コンクリート造）実習場